

和歌山県みなべ・田辺地域 ✕ (一社)日本ウェルビーイング推進協議会 「梅収穫ワーケーションで人手不足解消 & 関係人口創出」

活動内容



2022年から、世界農業遺産の地であるみなべ町にて「一次産業」と「ワーケーション」を結びつけた「梅収穫ワーケーション」（毎年5月～7月）を展開しています。6月の梅収穫時期に都市部から参加者を募り、ワーケーションしながら梅農家の作業を手伝ってもらうことで、農家の作業負担が軽減されるとともに、都市部の人々との新たな交流が生まれ、参加者は自然の中で汗をかきながら体を使って作業に没頭することで、双方のウェルビーイングの向上につながっています（2024年は延べ355人が参加）。またこの活動はみなべ町にとどまらず、他県の複数の産地にも水平展開し、地域を超えた農家同士の新たな交流にもつながっています。

地域の声



みなべ・田辺地域は日本有数の梅の産地として有名ですが、世界農業遺産「みなべ・田辺の梅システム」として認定されていることを知らない人が多くいます。そんな中、令和4年度より（一社）日本ウェルビーイング推進協議会が主催し、官民地域連携で取り組んでいる協働活動「梅収穫ワーケーション」は、地域や産地の取組に興味や関心を持つ県内外の方々との交流を生み、関係人口を創出する機会となっています。

「梅収穫ワーケーション」に興味や関心をお持ちの方は、是非ご参加ください。

企業の声



「地域にどう関わるか」
これは全ての企業において、今後の地球の未来を考えていく上で欠かすことのできない視点です。梅収穫ワーケーションは、現場で農家さんと共に汗をかき、手足を動かして作業に従事するという実際の体験があることが、他と違い大きな前向きな違いをもたらす点で特別な機会だと捉えています。

このことが、地域と本当のつながりを紡ぐことを加速するから、結果としてビジネスへのポジティブな影響があることを感じています。参加してよかった！来年も行きます！